

科 目 名 (Subject)	行政法研究（発展） Administrative Law (Advanced)		
単 位 数 (Credits)	2 単位	開講時期	後 期
担当教員名 (Name)	齋藤 健一郎 SAITO Kenichiro	研究室番号 (Office)	5 1 8
Office Hours	随時（事前にメールで連絡をすること）		
1. 授業目的・方法 (Course objective and method)			
行政法研究（基本）では、行政法の“発展的”論点を取り上げて、調査、深い理解、批判的・多角的な分析を行うとともに、各論点につき現代的な意義を考えることを目的とする。 演習形式で、行政法の学術文献を読み進める。受講者は、文献を読み、レジュメを作成し、報告を行う。その上で、議論を行う。			
2. 授業内容 (Course contents)			
第1週 オリエンテーション 第2週～ 報告・議論 *第2週以降の授業内容の詳細（報告者や文献の箇所など）は、履修者数が確定した後に決める。			
(予習) 文献を読む。報告者は文献の内容についてのレジュメを作成する。 (復習) 文献を読み直し、授業時の議論内容を復習する。			
3. 使用教材 (Teaching materials)			
現代行政法講座 第1巻 現代行政法の基礎理論 第2巻 行政手続と行政救済 第4巻 自治体争訟・情報公開争訟 *コピーを配付する。 *上記は論文集なので、その中の発展的・応用的な内容の論文を選び、報告・議論をする。			
4. 成績評価の方法 (Grading)			
授業への参加度（50％）、レポートの内容（50％）。			
5. 成績評価の基準 (Grading Criteria)			
秀（100～90）：①文献の内容を過不足なく要約でき、②議論において批判的な検討および主張ができ、かつ、③レポートにおいて、批判的・多角的な分析および自身の説得的な主張ができている場合。 優（89～80）：上記①～②の何れかを満たし、かつ、③レポートにおいて、批判的・多角的な分析および自身の説得的な主張ができている場合。 良（79～70）：上記①～②の何れかを満たし、かつ、③レポートにおいて、批判的・多角的な分析のみができているか、または自身の主張のみができている場合。 可（69～60）：上記①～②の何れかを満たすが、③レポートの内容が不十分な場合。 不可（59～0）：上記①～②を何れも満たしていない場合、または、③レポートの内容が不十分な場合。			
6. 履修上の注意事項 (Remarks)			
・履修を希望する場合には、履修登録の期限前までに齋藤にメールで連絡をして下さい。			